

ようこそ、
名張市議会の皆さん！

古賀市議会の
議会改革の取り組み
その歩みと今後の課題

2017年7月13日(木)
古賀市議会

2017年度の視察

① 4月13日(木) 富山県小矢部市議会
② 5月31日(水) 鹿児島県志布志市議会
③ 7月13日(木) 三重県名張市議会
④ 7月27日(木) 香川県三豊市議会
⑤ 8月3日(木) 鳥取県浜田市議会
⑥ 8月7日(月) 埼玉県越谷市議会
⑦ 10月5日(木) 山形県南陽市議会
⑧ 10月24日(火) 愛知県東海市議会
⑨ 1月25日(木) 大阪府北摂市議会議長会

2016年度の視察
① 4月28日(木) 東京都台東区議会
② 5月9日(木) 東京都台東区議会
③ 5月18日(水) 文京区議会
④ 7月12日(木) 文京区議会
⑤ 10月11日(水) 神奈川県厚木市議会
⑥ 11月1日(水) 兵庫県川西市議会
⑦ 11月1日(水) 広島県尾道市議会
⑧ 11月7日(水) 京都市中京区議会
⑨ 11月15日(水) 宮城県仙台市議会
⑩ 2月2日(水) 千葉県南房総市議会
⑪ 2月7日(木) 大阪府守口市議会
⑫ 2月15日(木) 徳島県小島町議会

前半

前期議長(飯岡健司) 就任の所信表明(2011年5月)

第1に、**魅力と誇りある古賀市を目指す**。古賀市の持つ特徴を最大限に活かし、市民の皆様の幸せ、環境、子育て、教育、そして産業振興など数々がまちづくりを実現するため、議会として19名の議員全員で積極的に役割を果たすよう努力する。

第2に、**開かれた議会の充実を目指す**。議会だまりの充実や議会のインターネット中継、録音の取組、議会ホームページの充実、議会主催の報告会の開催、市民が気軽に参加しやすい環境整備に取り組む。

第3に、**議会の役割を発揮するために努力**。議案に対する活発な質疑、決算審査の充実と予算や施政方針への反映、常任委員会における所管事務調査と提言、各議員団との意見交換等の充実に取り組む。議会全体での研修会、議会基本条例の制定や第4次総合振興計画の策定に取り組む。

第4に、**魅力的な議会運営**。日ごからの議員同士のコミュニケーションに加え、議員連絡会の定例開催、必要に応じた会派代表者会の開催、正副議長と事務局との定期的打ち合わせなどに取り組む。

第5に、**議会事務局の充実**。議会事務局の職員が仕事をしやすい環境整備に配慮し、議員の調査研究活動、政策づくりなどに対するサポート体制の充実に向けて配慮する。

前半

前期4年間の主な取り組み

2011年5月 インターネット中継開始
2012年5月 中継開始
2013年5月 議場モニター、議員金庫カメラ
2014年4月 議員金庫カメラ

議会基本条例検討・可決
議場モニター、議員金庫カメラ
進行準備
進行・自由討議

継続して2年間
実行準備にもあつた

8月 議員全員を対象とする研修会実施
7月 初の議会報告会
7月 初の議会報告会
7月 パートナーシップ協定
3月 子育て特別委員会の設置

500回 式典、イベント、各団体総会等での議長挨拶
200回 正副議長定例会議、月1回の議員連絡会
定例議会の前後に市長、副市長との懇談の場

今日お話しする主なテーマ

<前半>
(1) 議会改革前史の紹介
(2) 2011年5月以降の議会改革の経験
◆制度上の改革や自由討議、議会報告会など
※質疑応答

<後半>
(3) 政策提言力向上、今後の課題
◆政策推進会議(防災対応、公共交通)と大学のパートナーシップ協定など
(4) その他
※質疑応答

前半

主な流れ

模索 改革の模索 市制施行(1997年)を契機に
●議決方式の移行 ●議事録の活用
●第一委員会制 ●議長職責による一問一答

検討 検討の着手 活性化特別委(2010年)や議運
●議会基本条例の検討研修、三重県議会事務局改変による研修会
●特別定額給付金(基本条例は、来任期における重要な検討課題)

実現 議会改革の実現 2011年5月の新体制発足による
●議会基本条例制定を契機とした議長の所信表明
●インターネット中継、議会基本条例の施行、改革案九州沖縄1位
●災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

定着 議会改革の定着・継続 2015年5月以降の今期
●議案の新たな発着による議会改革の定着、継続
●まち・ひと・しごと地方創生への対応 ●スマホ、iPad対応

前半

インターネット議会中継による合意形成の経験

①検討期間
ア) 検討開始: 2011年6月3日
イ) 会派代表者会議等での検討
ウ) 同意確認: 2012年1月18日(同意11人、不同意6人)
エ) 市長の最終判断と全協での合意: 2012年1月30日
オ) インターネット中継開始: 2012年6月5日

②検討してきたテーマ
ア) 議会公開と議員老朽化対策は必要との共通認識
イ) インターネット中継・録音配信はいまや標準的サービス
ウ) インターネット利用率が高齢者でも増加し、障がい者にとっては必需ツールとなっている
エ) 初期投資、維持管理費は導入議会の拡大とともに安心傾向
オ) 合意形成と並行して老朽化対策、デジタル化の予算要求を提出
カ) 定住化、企業誘致さらには防災や市民参画の議会改革の中継にも役立つので、予算は議会費でも効果はまちづくり全般に及ぶ

前半

2016年4月からスマホ、iPadでも中継・録音が見ることができるようになりました！

議会トピックスでリアルタイムの議会情報発信

議員報告会も動画配信の活用も開始

2012年6月議会からインターネット中継・録音配信をスタート

前半

1995年9月14日
議案採決を最終日にすること、一般質問持ち時間制を提案

議員会に関する申し入れ
議員会に関する申し入れ
議員会に関する申し入れ

22年前
議会改革の歩みが記された

前半

1998年9月の申し入れ
議会だまり、一般質問の第一号弁書
一般質問通告書の傍聴者配布を提案

議員会に関する申し入れ
議員会に関する申し入れ
議員会に関する申し入れ

前半

名張市議会の
Facebook
タイムリーな
情報発信ですね。

前半

会期中の委員会の審議日程を事前に公開しました
審議する議案名とその審議順番

議案名と順番

前半 政務活動費の収支報告をインターネット公開しました (2015年1月21日)

2014年度分から領収書・収支報告・領収報告をインターネット全面公開へ

前半

●2015年6月議会以降
補正予算特別委員会
決算特別委員会
議員全員の特別委員会も
中継・録画配信を開始

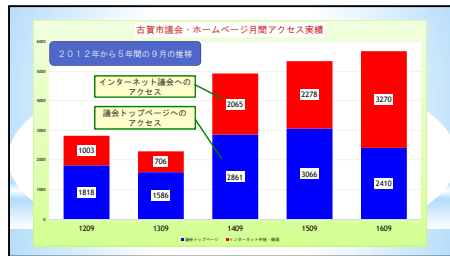
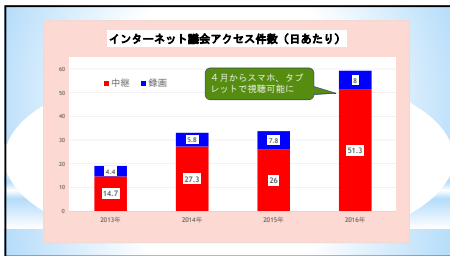
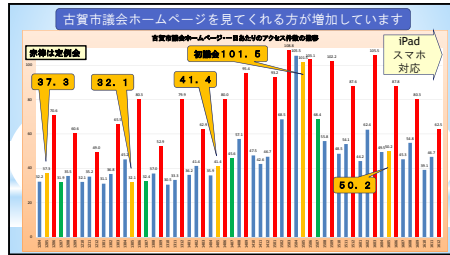
予算特別委員会のインターネット中継開始 (2015年3月9日)

70インチモニター
議場内に設置

70インチモニター
議場内に設置

70インチモニター
議場内に設置

一般質問
画面カメラを活用し
モニターにグラフを表示
iPadからのデータ映写も可能



前半

議会基本条例の制定、施行に向けた取り組み

議会基本条例等調査特別委員会設置 (2011年6月22日)

先進地視察 ワーキングチーム 市民アンケート パブリックヒアリング

田中孝男先生研修会 議案検討小委 条例案検討小委 市民説明会

議会基本条例等調査特別委員会最終報告 (2013年3月26日)

議会基本条例等調査特別委員会
●会議規則改正
●議事報告会
●議案審議
●政策推進会議
●運営委員
●議員全員の特別委員会
●協議会規定

議会基本条例等議員提案 (8人、2013年3月6日)
賛成多数で可決 (13:5、3月19日)

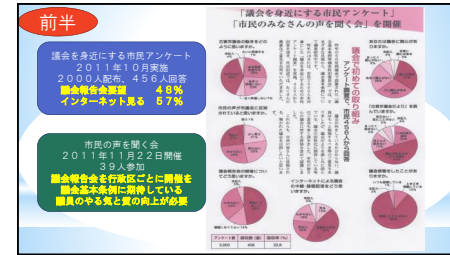
議会基本条例等施行準備会議 (2013年3月22日)
答申 (2014年3月20日)

議会基本条例等施行に向けた会議規則改正案
全会一致で可決 (2014年3月27日)

議会基本条例等施行 (2014年4月1日) → 議会報告会

前半 議会基本条例制定をめぐる論点

①条例の目的は何か
②議会の役割 (議会、市長、市長に求められる役割)
③議員研修会を盛り込む必要性 (個人、委員会、議会全体)
④自由討議 (必要性、法的根拠、休憩中での議論か)
⑤会場の関係 (議場、市長、市長に求められる役割)
⑥議会報告会 (議会として、議会、個人として、議員個人の意見の扱い)
⑦一問一答 (一括質疑も認められるべきか、一問一答の意義)
⑧公開権 (質疑と質問の違い、代案、提議を必要とするかどうか)
⑨協議推進会議 (特別委員会をどう扱うか)
⑩条例案の委員会提案が議員提案か
⑪条例案は賛成多数で可決、12月の準備期間を経て会議規則改正は賛成多数で可決 (協議推進会議や議会報告会に関する委員等も協議)
⑫条例案の文言の適正化における議会事務局の役割
⑬2014年4月以降は議員全員一丸となって具体化に取り組めた!



前半 議会報告会幹事会

各常任委員会、議運の
正副委員長で構成

2014年4月30日、議会報告会
初めての幹事会

2015年9月14日、第2委員会室
今日の幹事会

前半

第1回 議会報告会

初回の議会報告会
お知らせのチラシ

今期 11月14日 土曜日

今期第2回目の議会報告会
2016年10月23日(日)

今期第1回目の議会報告会
2015年11月14日(日)

今年度は3カ所で開催

10月22日(土) 18:30~19:30
10月22日(土) 18:30~19:30
10月23日(日) 18:30~19:30

古賀市市民・古賀市議会

前半 議会報告会プレゼン・リハーサル

2014年7月のリハーサル (前期)

2016年10月のリハーサル (今期)

前半 会場の全景 2014年7月20日・リハーサル

年度	参加者数
2014年度 3会場(7月)	103人
2015年度 1会場(11月)	18人
2016年度 3会場(10月)	70人

初の議会報告会に103人が参加、よかったと評価

- 7月18、19、20日の議会報告会に市民103人が参加
- アンケートには開催を評価する声が入

前半 請願・陳情

議会基本条例で市民による政策提言と位置付け

- 基本条例 第6条第4項 議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置づけ、その審議において必要があると認める場合は、**提案者の説明および意見を聞く議会を設けることができる。**

請願審査

- ①所管委員会に付託
- ②紹介議員から原稿の説明
- ③紹介議員に対する質疑
- ④請願者の意見陳述、質疑(5分間で意見陳述)
- ⑤討論、採決

陳情

- ①陳情文をコピーして全議員に配布
- ②議会だよりに記載

前半 請願者の意見を正式に聞く機会を実現

市民提案委員会 (2015年9月9日)

文教厚生委員会 (2016年9月5日)

紹介議員の説明と質疑が終了したあと、5分以内という条件で請願者から意見をお聞きしました。

今期初めての議会報告会 2015年11月14日

今期初めての議会報告会。入札式からカブネ方式へ変更し、市民の参加が容易になりました。また、議員の質問も増え、市民の意見が反映されました。

名張市議会の議会報告会

なばり市議会だより

議会報告会を実施

市民参加型 議員報告会

市民参加型 議員報告会

市民参加型 議員報告会

市民参加型 議員報告会

前半 自由討議の活用①

議会基本条例で自由討議尊重を規定

- 基本条例 第4条第1項 議員は、議会が専断の府であること及び合議制の機関であることを十分認識し、議員相互の自由な討議を尊重しなければならない。

会議規則で自由討議の運用を規定

- 会議規則第52条の2、第115条の2 質疑終了後、議案(付議)が必要であると認めるとき又は動議があったときは、会議に附して**自由討議を行うことができる。**
- 会議規則第60条、第122条、質疑、自由討議又は討論が終わったときは、議長(副議長)は以下の順序を尊重する。

前半 自由討議の活用②

議会基本条例施行前に自由討議を試行

- 2013年12月議会 補正予算審査で休憩中に自由討議を試行
- 2014年6月議会 総務委員会に付託された議案審査(自治基本条例策定委員会設置条例)で自由討議を活用
- 2014年9月議会 決算特別委員会に自由討議を活用
- 2015年9月～12月 各会派、議員の意見を基に自由討議
- 2015年9月～12月 各会派、議員の意見を基に自由討議
- 2016年3月議会 国保税改定に伴う市長への要望

前半 一問一答

議長職責で一問一答を17年前から導入

- 2000年8月に申し合わせ事項の改正
- 一般質問で一問一答が実施される(持ち時間は30分)

議会基本条例で一問一答を正式に規定

- 2014年4月1日から施行
- 基本条例 第9条 議会の会議における議員と市長等との質疑応答は、市政上における論点および争点を明確にするため、**一問一答の方式で行うことができる。**

前半 反問権付与

議会基本条例で反問権付与を規定

- 基本条例 第9条第2項 議会の会議及び委員会において、市長等は、議員の質問、政策提言、議員提出議案等に関し、議論を深めるため、議長又は委員長の許可を得て、当該議員に対し反問することができる。

副議長(兼務)

- 反問の内容が、議員が行った質問・質疑の筋から逸脱しているとき議長もしくは委員長が判断したときは発言を中止できる。
- 一般質問の心づかいに施設方針質疑で反問に対する議員の答弁時間は、持ち時間に算入しない。
- 市長等は、反問権を行使するときは論点、争点を明確にするという趣旨を十分踏まえるものとする。

2017年6月議会中で中村隆彦市長が初めて行使

期会中の所管事務調査と議案審査の最近の経験

期会中の所管事務調査と議案審査の最近の経験

期会中の所管事務調査と議案審査の最近の経験

期会中の所管事務調査と議案審査の最近の経験

前半 タブレット活用

資料をPDFファイルで提供

- 2013年3月議会以降
- 議運メンバーで霧島市議会の先進事例を視察研修
- 2013年7月(政務活動)
- 議運で電子市議会のタブレット活用を視察
- 2014年7月29日
- 9月議会最終日に報告、執行部に早期検討を提言。

本会議、委員会へのパソコン等の持ち込みを許可すべしとほぼ全議員が活用しています

Googleドライブを活用した資料、日程、名簿などの共有から着手

前半 賛否の公開



議員ごとの賛否を表示

●議決によりで全議案の議決の賛否を掲載
●2009年3月から主な議案、2012年から全議案押しボタン式議決システムを導入
●2014年7月議会
●会議規則第70条（起立等による表決）に押しボタン式表決を規定。賛成、反対を明確にした。

押しボタンによる採決後、議長は「投票総数・人、賛成・人、反対・人、よって採決（否決）」と口述。
●可否同数の場合は、直ちに議長議決とする。以前は投票を行っていたが、可否同数が明確であることから投票を省略することが可能となった。

2017年3月27日 本会議

会議規則第70条（起立等による表決）の第3項、4項に「押しボタン式表決」について定めた。

前半 今期議長（結城弘明）の立候補の際の所信表明（2015年5月）

行動指針

前期に実行した議案を本本期に基き、二世代代表制の元、執行部とは建設的対話の議論し、可能な限りの議案取組を進め、その議案の進捗に基づき即座に、議会内では建設的な議論を通じてリニアリテに議員市民議会の形成に努力

1 議会運営（何れもやすい議会の構築）

- 議会の可視化の拡充
 - インターネット配信の有効活用と使用促進のための取組
 - 議案情報に関する市民アンケート、必要かつ視される広報
- 議員間の情報共有
 - 市内各議員の充実
 - タブレット端末の有効活用や情報機器活用に向け執行部に働きかけ
 - 投票実行には情報の委員会は可能な限り対話し情報を得る。

2 まちづくりへの取組について

- にぞわいと希望ある古賀市を創る
 - 第4次総合振興計画中期見直し案案、まち・ひと・しごと創生総合戦略
 - に対し特別委員会などの体制づくり
 - 人口増対策について三世帯が定住できる環境づくり
 - 土地の有効活用で経済の活性化
- 積極的取組案案、執行部の評価、支援、県・国への働きかけ

前半の質疑応答

後半 1997年3月 議会だより発行検討委員会

1997年9月24日「市議会報編集委員会」発足

1997年11月「創刊号」発行～第74号まで発行

1999年6月「議会報編集特別委員会」設置

2005年1月 雄野町議会の視察

2005年3月 賛否一貫、討論議案掲載

2006年2月 深沢先生研修会・地方議会人掲載

2011年2月「議会報編集マニュアル」を作成

2015年3月「議会報編集常任委員会」化を可決

「市議会だより」の歩み

議会閉会中の所管事務調査

各課から文書資料とともに各事業等の進捗状況の報告を受け、質疑を行う。

総務委員会（総務部）
(1日間)

文教厚生委員会（教育部、保健福祉部）
(2日間)

市民建産委員会（市民部、建設産業部）
(2日間)

3委員長の報告
A4版4ページ
4.5分程度

各委員報告内容をホームページにアップ

議会閉会中の継続審査付託

定例会最終日の本会議

議会閉会中の所管事務調査報告

定例会初日の本会議

早大マニフェスト研究所「議会改革度調査2014」

九州 沖縄で第1位の評価

2014年度 (2014年度)

古賀市議会九州トップ

早稲田大学マニフェスト研究所 出版 新編 2015年10月

後半

「地方議会人」2006年4月号に古賀市議会だよりが紹介されました
2015年6月号でも紹介

①議員の主体的取組み
②市民との積極的対話
・特集、賛否一貫
③親しみやすい顔づくり
④取組として
・一貫した取組のアウト
・予算・決算のオープン
・議案特報、討論者氏名
・ページ数の増大

2006年2月に古賀市議会は、深沢徹先生を講師に議会広報研究会を開催しました。その時の資料が重要参考になりました。

議会だよりの一般質問のスタイル
経験交流をお願いします！

なばり市議会だより

こが市議会だより

なばり市議会だより

こが市議会だより

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査結果の推移

年度	総合評価	財政	行政	民生	文化	その他
2011年度	2.77	2.98	1.90	4.23	2.00	2.00
2012年度	2.94	3.02	2.12	3.27	2.00	2.00
2013年度	3.12	3.13	2.00	2.65	2.00	2.00
2014年度	3.40	3.55	2.11	2.98	2.00	2.00
2015年度	3.71	3.83	2.88	3.48	2.00	2.00
2016年度	3.88	3.95	3.39	3.88	2.00	2.00

2014年、2015年度、2016年度
3年連続で九州・沖縄で第1位の評価

古賀市議会の評価の推移です

地方議会

「政策推進会議」を核に
議会の政策提言を充実へ

古賀市議会の取り組みが月刊「ガバナンス」に紹介されました（2016年12月号）

後半 今後の取り組み

所管事務調査、予算や決算審査
質疑の結果をどう活かすか

議員間の自由討議
議案審議の結果や提言等にどう活かすか

政策推進会議の本格的取り組み
市民の声や一般民間は政策資源

研修と専門家の助言
大学等とのパートナーシップ協定

制度上の改革

政策力の向上

後半 議案修正、議員提案条例

総合振興計画に対する議会としての提言の経験
●第4次総合振興計画に対する6点の提言（2013年2月臨時会）

予算関係の減額修正案可決の経験
●当初予算案の海外振興費の減額修正（2013年3月議会）
●補正予算案の保育所新設補助の減額修正（2013年12月議会）
●当初予算に対する村営決議（2014年3月議会）

議員提案による条例制定の経験
●深夜花火規制条例の議員提案、可決（2013年6月議会）

名張市議会
昨年12月定例会
「『食べてだご』名産のお菓子でおもてなし条例」
全会一致で可決
議員提案の5つ目の条例

災害対応 **災害時の議会対応に関する主な経過**

2015年 1月31日 政策推進会議全体会で災害対応要綱、行動マニュアル策定を了承（今期の政策推進会議は「公共交通」）

2015年11月29日 災害対策本部設置訓練

2016年10月14日 議会運営委員会で滋賀県大津市議会の議会版BCP視察

11月28日 議運で視察報告、議会版BCPを策定することを確認

12月16日 古賀市議会のBCP策定に向けて議長から諮問
議員連絡会で議会版BCPについて報告

2017年 1月 6日 議運で正副委員長案を提案

1月18日 議員連絡会で報告・説明

2月 7日 議会版BCPについて集中審議、議長へ答申

3月22日 議員全員協議会で協議、継続協議を確認

6月27日 議員全員協議会で「議会版BCP」を了承

後半 **前期の政策推進会議委員会の活動**
古賀市議会災害対応要綱を策定

「災害対応要綱」
①災害対策第1配備
局長が議長に報告
②災害対策第2配備
議長は副議長、総務正副委員長を招集
③災害対策本部
議長は議会災害対策会議を設置（正副議長、議長と各常任正副委員長）
④所掌事務
安否及び現場所確認、災害情報の集約、市対策本部への情報提供、市対策本部からの情報の議員への提供
※議会事務局職員は議会の対策会議の事務に従事することになった。

今日の取組
地盤はこのレベル

前半

政策推進会議は各会派選出メンバーで構成
議長はオブザーバー

業務継続計画は議運答申をもとに協議し全協で了承
確認します

災害対応 **非常時における議会の行動指針策定状況**

非常時における議会の行動指針策定状況
早稲田大学マニフェスト研究所
2016年11月25日

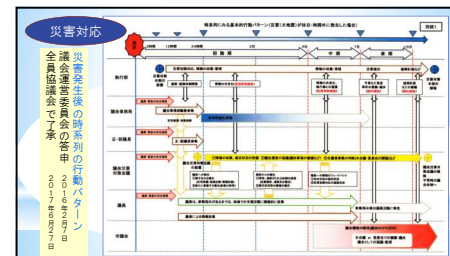
議会独自のBCP（業務継続計画）を定めているのは・・・

BCPを定めている議会
0.35%（5議会）
身延町議会
大津市議会
湯浅町議会
福井市議会
大分市議会

定めている
24%
（47議会）

定めていない
66%
（100議会）

何らかの行動指針がある議会 34%
・申し合わせ
・議員の行動指針
・防災マニュアル
・災害対策本部設置要綱
・BCP



災害対応

災害時の議会対応要綱を議長に報告
（2015年3月24日）

防災ジャンパーとヘルメットを購入
（議員互助会）

今期は防災キャップを購入

議会対応要綱を記者発表
（2015年4月15日）

災害対応

古賀市議会災害対策会議の設置訓練
（2015年11月29日 - 第1委員会室）

災害対策本部設置訓練
2015年11月29日

千鳥小学校区防災訓練
2015年11月29日

災害対応 **災害発生時の本会議運営マニュアル**
議員連絡会での承認
2016年3月7日

項目	実施内容	実施	実施内容	実施	実施内容	実施	実施内容	実施
1	災害発生時の対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応
2	災害発生時の対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応
3	災害発生時の対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応
4	災害発生時の対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応
5	災害発生時の対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応
6	災害発生時の対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応	議事進行が滞りないよう迅速に対応

後半 **地域公共交通総合研究所の小嶋光信理事長を講師に研修会**
議員互助会・市議会の200人が参加（2014年10月29日）

議員全員で研修会を開催
災害対応に生かしたい

「公共交通基本法」
「地域公共交通活性化（再生法）」
国の政策は大きく変わった

災害対応

古賀市議会議会運営委員会は、災害発生時の議会対応要綱を議長に報告し、大津市議会の先進事例を調査研究しました（2016年10月14日）

大津市議会 議会防災委員長 津島文志さん

サバイバルローラーバック

防災グッズの整備

サバイバルローラーバック
3日間の飲料水や食料をはじめ携帯ラジオ、簡易トイレ、防塵用具など緊急時の必需品一式をまとめた防災用品のセット。22リットルと大容量で保冷・保温機能を備え、かつ、防水ラングとしても活用することができます。

議員及び随時総務課に配備

折り畳み式防災用ヘルメット
議員39名、執行部及び議会事務局40名

収納時
展開時
展開時

議員氏名、番付表、緊急連絡先を明記

滋賀県大津市議会の防災グッズ

後半 **議会研修会の開催**
課長、係長等を講師にテーマ別の研修会

前期は、財政、高齢者、産業、土地、教育、健康、農業の7テーマで実施。
今期も、財政、健康問題、水道行政をテーマに実施。

前期
栗木教育長（当時）を講師に研修会
2012年11月7日

今期
財政問題研修会
2015年8月1日

健康づくり問題研修会
2016年5月23日

水道行政研修会
2016年10月21日

後半 **今期の政策推進会議**

政策推進会議
政策テーマ決定に向けて発案会を実施
（2015年10月19日）

地域公共交通をテーマに決案委員会、議員等が公共交通の確保（保冷）を提出し、議員賛同済を決定

